

総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【2月号】

クラブ名	コムスポ夢が丘	訪問日	2月3日	訪問者	若林 真優
訪問詳細	<p>今回はコムスポ夢が丘が今年の1月に新しく始めた「健康麻雀教室」の視察に伺いました。この教室は、会員からの要望で始まり、第1・3金曜日の13時～17時の4時間実施しています。今回の参加者は12名で、みなさん楽しく活動していました。ルールを教えてください方がおられますので、初めて麻雀をする人も気軽に参加できます。教室を始めて1か月が経過したところですが、口コミで参加者が増えてきており、好評のようです。</p> <p>場所は、公民館を利用しています。公民館は、地域の人なら歩いて行くことができ、車を運転する必要がないので高齢者でも立ち寄りやすい場所です。健康麻雀を楽しむだけでなく、地域交流の場としても期待できると思います。その他、「夢キッズ（幼児運動）」「トランポリン」なども行われており、コムスポ夢が丘の活動が今後ますます発展し、地域活性化に繋がっていくことと思います。</p>				



クラブ名	長門スポーツクラブ	訪問日	2月26日	訪問者	岡村 睦美
訪問詳細	<p>今回は、長門市深川地区で活動する長門スポーツクラブの『長門バレーボール教室』の視察を行いました。この教室は、スポーツ指導者等派遣事業を活用して実施されました。講師に元全日本男子バレーボール代表の桑田美仁氏を招き、技術指導が行われました。中学生やママさんバレー、長門市内の一般のバレーボールチームから約60名が参加していました。中学生とママさんは技術指導後に、年齢差を感じさせない白熱したゲームをしていました。一般のバレーボールチームは、チームの中に女性を入れるなどの独自のルールで試合を行っていました。</p> <p>教室後には、クラブが用意したうどんが参加者にふるまわれました。運営スタッフのチームワークの良さを感じました。</p> <p>長門スポーツクラブは、定期的な教室だけではなく、いろいろなイベントも行っています。来年度は設立から3年目となりますが、今後もクラブの活動は充実していくことでしょう。</p>				



☆レッツ！オリ・パラ☆



2020年
東京オリンピックまで

1242日

※平成29年2月28日現在

テコンドーは古くから朝鮮半島に伝わる武術が原形と言われており、手と足を使って行われ、多彩な蹴り技が特徴です。オリンピックの正式種目となったのは2000年のシドニー大会からですが、1973年に世界テコンドー連盟（WTF）が創設されたことから始まり、現在WTFには160カ国以上が加盟し、5000万人以上の人々が競技をする国際的なスポーツとなっています。

勝敗は、KO、TKO、ポイントの優劣による判定で決められ、胴部への攻撃に対して1～2ポイントが与えられ、頭部への攻撃で3～4ポイントが与えられます。

日本人選手では、岡本依子選手がシドニー大会で銅メダルを獲得しています。また、徳山大学に所属している濱田真由選手は、ロンドン大会、リオデジャネイロ大会ともにメダルの獲得はできませんでしたが、2015年の世界選手権で優勝するなど国際大会でも活躍しています。

2020年の東京大会では、日本選手のメダル獲得に期待したいです。